

冤罪被害者の視点 苦悩描く「獄友」上映へ 杉並・中野

なぜ冤罪^{えんざい}が起こるのか。布川、足利事件で冤罪被害にあった当事者らの視点で描くドキュメンタリー映画「獄友^{ごくとも}」の上映会が杉並区と中野区で開かれる。茨城県利根町布川^{ふかわ}で起きた強盗殺人事件「布川事件」で再審無罪となった桜井昌司さんのトークもあわせて行われる。

映画には、布川事件の桜井さんと故・杉山卓男さん、「足利事件」の菅家利和さん（いずれも無罪確定）、「狭山事件」で再審請求中の石川一雄さん、「袴田事件」の袴田

巖さんの5人が登場する。自分たちを「獄友」と呼び、彼らはなぜ「自白」したのか、獄中で何があったのかなどが描かれる。

上映は19日は杉並公会堂（午前10時半、午後2時）、7月3日がなかの芸能（午前10時半、午後2時）、7月11日に杉並公会堂（午後7時）で、毎回桜井さんのトークがある。

前売り1300円、当日1500円。予約、問い合わせはキムーンフィルム（042・316・5567）。（青木美希）